

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトワーク6		
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	マンガコース	開設期	前期		
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	90時間		
単位数	3単位			授業形態	実習		
教科書/教材	随時資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	佐藤 敦弘		実務経験の有無・職種	有・マンガ家			
学習目的							
この科目では、マンガ業界を支える仕事の一つとして存在する、アシスタント業務に必要な技術と知識を現役プロアシスタントの指導により学びます。背景作画力の強化は、自身の作品のクオリティ向上のためだけでなく、卒業後における進路選択のバリエーション増やしていくことができます。現役プロアシスタントからは、現場での必須スキルや業界情報だけでなく、コミュニケーション能力の重要性についても説いていきます。							
到達目標							
この科目では、美術スタッフとして作家をサポートするアシスタントとして、業界で活躍することのできる技術と知識の習得を主目標とします。業界で働くことにおいて、技術だけでなく、コミュニケーション能力や、業界の動向に目を向けて常に研究を行っていく姿勢を磨くことも目標です。授業内で制作した背景作品を活用して、アシスタント募集に率先して応募を行う。							
教育方法等							
授業概要	作家としての道だけでなく、美術スタッフとして作家をサポートするアシスタントに必要な技術や考え方を養いつつ、技術の定着度を確認する検定をプロアシスタントの指導の下で行っていく。卒業後、デビューを目指す傍ら、業界内でマンガの技術を生かした仕事の一つとしてアシスタント業務に勤められるよう、講師や教員を作家と見立て、技術だけでなく要求に対し常に対応できるコミュニケーション能力も重要なとなります。またこの授業では前期制作として、プロジェクトワーク5と連動し16Pマンガの制作を行う。						
注意点	制作方法はアナログ・デジタルどちらを使用しても構わない。アシスタントの知識として必要なことは、アナログ・デジタルを問わず必要であり、常にどちらにも応用が利くように確認を怠らないこと。この授業では疑似体験として、作家の下でアシスタント業務を行っている形をとるため、毎回の授業内では指示が出される上に、進捗状況の確認を行うため常に出席すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	アシスタントスキル及び背景パースの理解度を評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	背景講座		背景資料を配布し模写を行う				
2回	模擬アシスタント演習		講師が作画したキャラクターに背景を加える				
3回	模擬アシスタント演習②検定		作家の指示通りの背景が作画できるか検定を実施				
4回	P16以上マンガ下書き作業		別科目内で共通課題として実施しているP16以上マンガの下書き作業				
5回	平野先生とコラボ講座①		絵柄の違う作家の背景を作画する①				
6回	背景 2点パース①		室内におけるキャラとパースを意識した背景作画①下書き				
7回	背景 2点パース②		室内におけるキャラとパースを意識した背景作画②ペン入れ				
8回	背景 2点パース③検定		室内におけるキャラとパースを意識した背景作画③仕上げ				
9回	P16以上マンガ仕上げ作業		別科目内で共通課題として実施しているP16以上マンガの仕上げ				
10回	平野先生とコラボ講座②		絵柄の違う先生の背景をつくる②				
11回	背景 3点パース①		3点パースを活用した建物の作画①下書き				
12回	背景 3点パース②		3点パースを活用した建物の作画②ペン入れ				
13回	背景 3点パース③検定		3点パースを活用した建物の作画③仕上げ				
14回	全課題の復習		今までの制作を通しての疑問点を解消する				
15回	講評会		全体を通しての作品講評会・まとめ				